# 情　報　公　開　文　書

| | |
|---|---|
| 研究の名称 | 時系列データを含む敗血症患者における敗血症関連バイオマーカーの検証 |
| 整理番号 | R2019124 |
| 研究機関の名称 | 国立大学法人　富山大学 |
| 研究責任者 | 富山大学学術研究部医学系<br>臨床分子病態検査学講座　教授　仁井見英樹 |
| 研究の概要 | 【研究対象者】<br>2019 年 10 月 21 日～2026 年 3 月 31 日に富山大学附属病院に入院されている患者様で、敗血症が疑われたか、或いは敗血症と診断された患者様<br>【研究の目的・意義】<br>敗血症は感染症の中でも予後が非常に悪く、早期での治療介入が求められますが、病態が複雑なために早期の正確な診断は困難となっています。今回、シスメックス株式会社の全自動血液分析装置を用い、敗血症患者様の「白血球光学関連パラメーター」というマーカーを時系列で測定させていただきます。そして、これらのパラメーターの有用性を検証する事で、敗血症の診断および治療に役立てる計画です。本研究により敗血症の診断および治療指標となる新たなパラメーターを見出すことで、敗血症早期の正確な診断および最適な治療を可能とし、患者様の救命に貢献できると考えています。<br>【研究の方法】<br>既に検査済みの残りの（余った）血液を用いて、白血球光学関連パラメーターを測定し、　他の臨床情報とともにその有用性を検証します。<br>従いまして、この研究のために改めて血液を採取することはありません。<br>【研究期間】2019 年 10 月 21 日～2027 年 3 月 31 日<br>【研究結果の公表の方法】<br>学会・論文での発表、あるいは報告書の公開といった形で行われますが、発表成果から個人が決して特定されないように、十分配慮されます。 |
| 研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無） | 本研究では既に検査済みの残りの（余った）血液、および既に測定済みの検査結果を用います。本研究の血液検体・検査データは富山大学附属病院およびシスメックス株式会社において解析を行い、解析結果は個人が決して特定されないよう、個別データを全て削除した上で保管します。 |
| 研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名 | 富山大学学術研究部医学系<br>臨床分子病態検査学講座　教授　仁井見英樹 |
| 研究資料の開示 | 研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。 |
| 試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名） | 富山大学学術研究部医学系<br>臨床分子病態検査学講座　教授　仁井見英樹 |
| 研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口 | 研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。<br>Tel/FAX：076-434-7759<br>担当者　：富山大学学術研究部医学系<br>臨床分子病態検査学講座　教授　仁井見英樹<br>E-mail　：hiniimi@med.u-toyama.ac.jp |